

4-03 学生定員・在籍学生数

【現状説明】 大学・短期大学部ともに定員を充足し、適正な学生数を保っています。

大学院	近年の経済状況や就職状況が背景にあり、大学院では令和 7 年度入学生については、定員を下回る結果となりましたが、個々の指導を十分に受けることができます。 学生の約 7 割は社会人で、昼間仕事をした後、夜間や土曜日の講義を受講しながら研究活動を行い、論文作成に励んでいます。
大学	大学全体の収容定員 3,080 名に対し、約 3,400 名の学生が在籍しています。いずれの学部も定員を充足しています。直近 5 年の入学定員充足率は学部によって異なりますが、大学合計で 1.11 倍です。やや超過の傾向ではありますが、教育効果を保つにあたって適正な学生数を保っていると言えます。 約 3,400 名の学生のうち男子学生が約 20%、女子学生が約 80%程度在籍しています。平成 12(2000)年の流通科学部の開設を機に、大学開設当時と比較し男子学生の比率が上がっています。
短期大学部	短期大学部全体の収容定員 780 名に対し、約 800 名の学生が在籍しています。幼児保育学科では令和 6 年度に引き続き令和 7 年度入学生で、定員を下回る結果となりましたが、食物栄養学科とキャリア開発学科においては定員を充足しています。直近 5 年の入学定員充足率は学科によって異なりますが、短期大学部合計で 1.02 倍です。教育効果を保つにあたって適正な学生数を保っていると言えます。